

てがたんレポート Vol. 3 No. 8 (2006年8月：通巻29号)

★観察コース：鳥博スタート→鳥博駐車場前の草原でバッタ類観察→親水広場のあずまやで休憩→ミニ手賀沼わきを通り遊歩道→カッパの噴水前広場でまとめ&解散

★観察日時/天気：2006年8月12日（土）10:00～12:00/晴れ

★参加人数：19人

★観察案内&記録：

- ・ボランティア・スタッフ（敬称略・五十音順）：伊東茂子、小泉伸夫、中野久夫、弘実さと子、古川克彌
- ・鳥博職員：岡廣志、斉藤安行
- ・実習生：榊原広子、星野房子、山本真奈美

今回のテーマ
・夏の虫をみつけよう
・虫の食卓観察
・夏の鳥の姿

観察記録ーみんなで観察した生き物リストー

【鳥類】 カイツブリ、カイツブリ、カワウ、コサギ、オオバン、キジバト、カワセミ、ツバメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス（外来種や家禽）バリケン、ドバト、セキセイインコ

【昆虫】

- ・甲虫の仲間：マメコガネ、ナミテントウ
- ・チョウの仲間：モンキチョウ、ベニシジミ、ヤマトシジミ、アゲハ、アオスジアゲハ
- ・ハチの仲間：フタモンアシナガバチ、ドロバチの仲間
- ・カマキリの仲間：オオカマキリ
- ・カメムシの仲間：クモヘリカメムシ、ナガメ（幼虫）、チャバネミドリカメムシ
- ・バッタの仲間：コバナエナゴ、クルマバッタモドキ、ショウリョウバッタ、オンブバッタ（以上バッタの仲間）、シバズ、タンボコオロギ、エンマコオロギ、オカメコオロギ、ミツカドコオロギ（声のみ）（以上コオロギの仲間）、クサキリ、クビキリギス（以上キリギリスの仲間）
- ・トンボの仲間：アキアカネ、ノシメトンボ、シオカラトンボ、オオシオカラトンボ、アジアイトトンボ

【クモの仲間】

オニグモ、ナガコガネグモ、シロカネイソウロウグモ、クサグモ

【そのほかの動物】

ニホンアマガエル（両生類）、ニホンカナヘビ（は虫類）

【花】

- ・黄色：アレチマツヨイグサ、ヤマブキ（植栽）、キンシバイ（植栽）
- ・青・紫：トキワハゼ、ウリクサ
- ・赤：ムラサキツメクサ、ムラサキカタバミ、ミズヒキ、イヌタデ、ヘクソカズラ、ムクゲ（植栽）、スイレン（植栽）
- ・白：シロツメクサ、ヒメジョオン、セリ、オオアレチノギク、オモダカ、オオニシキソウ、キョウチクトウ（植栽）
- ・その他：ヨモギ（キク科）、エノキグサ（トウダイグサ科）、アレチギシギシ（タデ科）、ヤブガラシ（ブドウ科）、コゴメガヤツリ、コアゼガヤツリ（以上カヤツリグサ科）、スズメノヒエ、イネ、マコモ（以上イネ科）、ヒメガマ（ガマ科）

8月の観察アルバム



①草原の中を飛んでいたアジイトトンボ（腹部第9節が青色、第8節が青いのはアオモンイトトンボ）



②ムクドリ群れに混じったカゴ抜けのセキセイインコ（ハクセキレイに追われていました）
* 中野久夫さん撮影



③駐車場下の土手に繁茂するオオアレチノギクとその花（円内）



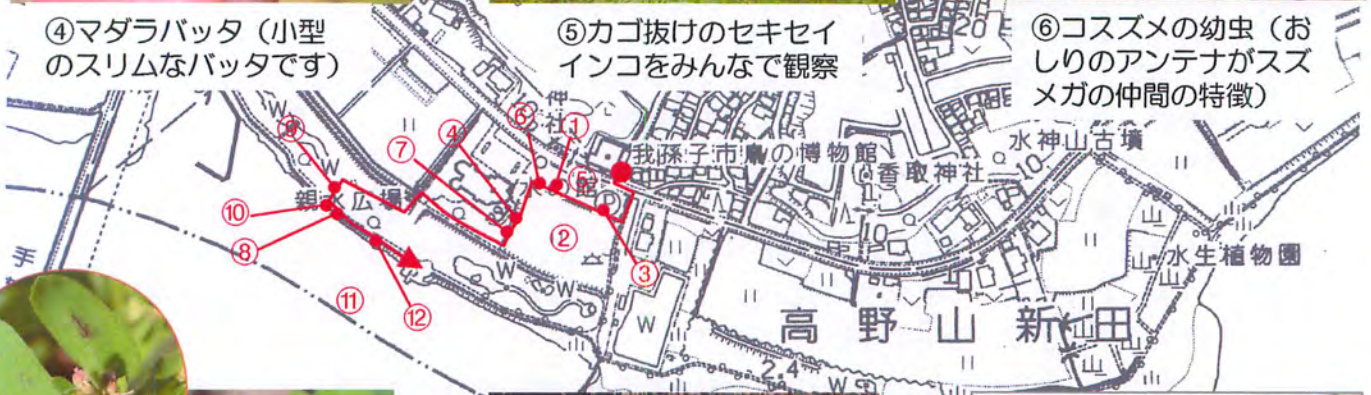
④マダラバッタ（小型のスリムなバッタです）



視線の先にセキセイインコが!!



⑥コスズメの幼虫（おしりのアンテナがスズメガの仲間の特徴）



⑤カゴ抜けのセキセイインコをみんなで観察



⑦オオニシキソウ（トウダイグサ科）の花（茎を折ると白い液が出る）
*円内はコニシキソウ



⑧雌（奥）の二倍の大きさのバリケン雄（手前）



⑨あずまやの屋根裏にすむオニグモ（夜に網を張り活動する）



⑩シオカラトンボの雄を食べるオオカマキリの幼虫



⑪河童の噴水でカワセミが一休み
*中野久夫さん撮影



⑫棚網の上で獲物を待つクサグモ